

病院の実力

～埼玉編 179

病院の実力「骨折治療」
医療機関別2021年治療実績
(読売新聞調べ)

骨折治療

早期手術で寝たきり防止

今回は骨折治療を取り上げ、手術が必要なケースに絞って調査し、一覧表には、2

021年に実施した手術件数などを掲載した。主な骨折手術は、救命のため緊急手術が求められたり、マヒなど深刻な後遺症が残ったりする「重度の骨折」と、高齢者の「脆弱性骨折」に

分けられる。重度の骨折は、骨盤や脊椎、骨髄のけがで起こるケースと、骨が皮膚を突き破り、むき出しになってしまう開放骨折を対象とした。脆弱性骨折は、加齢で骨が

もつくなる骨粗しょう症が原因だ。尻もちや、床に手をつくなど軽い衝撃でも折れてしまうのが特徴だ。折れた部位によっては、ギプス固定などによる保存療法が中心となるが、「大腿骨近

位部骨折」は原則、手術となり48時間以内の早期手術が望ましい。再度の骨折「二次骨折」の予防も重要だ。一覧表では、大腿骨近位部

骨折の手術に占める早期手術の割合と、入院中から二次骨折予防の薬物治療を受けた患者数も示した。なお、脆弱性骨折のうち、骨盤と背骨の骨折手術件数は重度の骨折に計上した。高齢化が進む中、二次骨折予防の重要性は増している。退院後も服薬は続け、転倒を防ぐための運動やバランスのよい食事を心がけたい。

医療機関名	主な骨折手術合計(件)	重度の骨折(件)	脆弱性骨折(件)	骨折二次骨折予防の割合(人)	
				早期手術の割合(%)	薬物治療(人)
埼玉					
TMGあさか医療セ	414	142	272	30	55
さいたま赤十字	366	81	285	45	30
東大宮メディカルセ	346	37	309	8	53
新座志木中央総合	234	28	206	9	66
埼玉石心会	227	40	187	26	0
上尾中央総合	214	21	193	60	21
埼玉医大	212	29	183	—	0
所沢中央	197	27	170	0	—
中田	195	0	195	—	5
関越	163	14	149	7	12
イムス三方総合	161	4	157	0	0
行田総合	159	0	159	0	0
戸田中央総合	147	17	130	4	0
深谷赤十字	147	50	97	62	—
埼玉協同	141	7	134	5	0
深谷中央	126	1	125	18	38
東埼玉総合	111	4	107	10	6
独協医大埼玉医療セ	108	52	56	4	20
川口工業総合	91	0	91	0	0
防衛医大	74	53	21	59	17
池袋	46	2	44	93	12
群馬					
慶友整形外科	191	32	159	29	81
公立富岡総合	172	7	165	6	48
桐生厚生総合	164	18	146	4	—
富沢	145	1	144	0	0
井上	123	3	120	31	0
善衆会	110	3	107	1	22
伊勢崎市民	103	—	103	19	—
済生会前橋	72	6	66	0	0
千葉					
亀田総合	368	112	254	86	0
さんむ医療セ	349	36	313	9	84
国保旭中央	311	77	234	39	61
順天堂大浦安	255	124	131	45	23
千葉中央メディカルセ	254	81	173	13	16
千葉西総合	240	3	237	49	122
聖隷佐倉市民	239	10	229	44	73
船橋整形外科	238	13	225	100	16
国保君津中央	232	97	135	53	90
成田赤十字	193	40	153	33	118
慈恵医大柏	178	83	95	19	21
千葉労災	168	17	151	45	110
日本医大千葉北総	138	95	43	16	0
船橋市立医療セ	100	47	53	11	50
キッコーマン総合	84	9	75	16	17
済生会習志野	83	12	71	18	12
帝京大はら総合医療セ	80	34	46	0	30
東邦大佐倉	72	6	66	17	10
国際医療福祉大市川	62	0	62	0	0
国際医療福祉大成田	45	8	37	4	6
千葉大	37	21	16	67	1

「セ」はセンター、「一」は無回答または不明

全国の調査結果は19日の「安心の設計面」に掲載しました。